



第13回 アジア太平洋都市サミット

福岡方式グローバルネットワーク設立記念セッション

福岡方式の課題と今後の展開

福岡市が福岡大学と共同で開発した廃棄物埋立技術「福岡方式」(準好気性埋立構造)は、近年世界各地で導入が進み、世界のごみ問題の解決に大きく貢献しています。

福岡方式について共に学びあい、「福岡方式」の正しい理解の定着を図ることを目的に、「福岡方式グローバルネットワーク(FMGN)」を設立します！

設立を記念し、セッションを開催します。ネットワークの紹介のほか、福岡方式の専門家をお招きし、講演・パネルディスカッションを行います。皆さんと一緒に「福岡方式」の課題と今後の展開を考えていきます。ぜひご視聴ください。

【視聴方法】 第13回 アジア太平洋都市サミット特設ページにアクセス
<https://apcs13th.fukuoka.jp/> ※要事前申込み・視聴無料

令和4年

【日時】 7月28日(木) 15:30-16:30

【プログラム】

第1部 FMGN 設立発表、来賓挨拶(山口環境大臣)、取組紹介
(ビデオメッセージ)



▲参加登録特設サイト

第2部 基調講演

講演テーマ：福岡方式におけるモニタリングと評価の重要性
(講演者)

● 福岡大学 工学部教授 田中 綾子氏



パネルディスカッション

テーマ：共に学ぶことの重要性
(パネリスト)

● 福岡大学 名誉教授

NPO法人廃棄物管理アドバイザーネットワーク福岡 理事長 松藤 康司氏

● 福岡大学 工学部教授 田中 綾子氏

● 環境・廃棄物関係のコンサルタント Theng Lee Chong氏

(モデレーター)

● 国連ハビタット福岡本部本部長補佐官 星野 幸代氏

